



応用地質株式会社

平成29年(2017年)12月期決算
中期経営計画OYO Jump18

説明資料

2018年2月14日公表

証券コード

9755
(東証一部)

代表取締役社長 成田 賢

1. 2017年決算概要と『OYO Step14』の振り返り
2. 中期経営計画『OYO Jump18』概要
3. 2018年12月期業績予想・配当予想

本資料は、当社の評価を行うための参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資等の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。当資料に掲載されている予想数字あるいは将来に関する記述の部分は、資料作成時の判断ですが、その内容の完全性・正確性を会社として保証するものではありません。予想数字等は、今後の経済情勢・社内事情により、修正を行うことがあります。

OYO

2017年12月期
決算説明会

1. 2017年決算概要と 『OYO Step14』の振返り

決算サマリー① セグメント別

『OYO Step14』の最終年度にあたる2017年度は減収・減益。

震災特需終焉等の外部環境変化への対応をはかる中で、次のステップへの踊り場が継続

- 調査・コンサル：ビジネスモデルの転換、新市場での取り組みの業務貢献が現れなかった
【新ビジネス】前期にあった新たなワンストップサービスの大型業務(土壌汚染工事)の反動
【再生可能エネルギー分野】洋上風力発電施設関連業務等のコストアップ
- 計測機器(国内)：受注は増加したが大型製品の納品が延期となり減収・減益
- 計測機器(海外)：決算期の統一の影響(前期15ヶ月→当期12ヶ月)で減収
不採算部門のリストラとソリューション型製品開発効果により、赤字幅縮小



受注高：458.0億円

<2016年>
504.7億円 → <2017年>
458.0億円
前期比**90.8%**

- 調査・コンサル：348.7億円(90.7%)
- 計測機器(国内)：30.1億円(111.8%)
- 計測機器(海外)：79.1億円(85.0%)

売上高：459.5億円

<2016年>
513.2億円 → <2017年>
459.5億円
前期比**89.5%**

- 調査・コンサル：353.9億円(90.1%)
- 計測機器(国内)：27.6億円(95.1%)
- 計測機器(海外)：77.9億円(85.5%)

営業利益：8.5億円

<2016年>
15.7億円 → <2017年>
8.5億円
前期比**54.2%**

- 調査・コンサル：8.3億円(47.9%)
- 計測機器(国内)：0.7億円(51.4%)
- 計測機器(海外)：▲0.5億円(+2.9億円)

※ () は前期比、なお計測機器(海外)の営業利益については前期比改善額

決算サマリー② グループ属性別

従来事業からの転換が進んだ国内グループは好調
転換の遅れた単体、海外グループは苦戦

- 単体 : 前期大型案件を事業スタイルの転換で補う計画が未達、受注、売上とも苦戦
販売管理費の増加、出来高進捗の遅れから営業利益が悪化
- 国内グループ : コア事業を明確化し、事業スタイルの転換が比較的順調に推移
- 海外グループ : 決算期の統一の影響(前期15ヶ月→当期12ヶ月)で減収
GSSI社を除き、事業スタイルの転換の遅れ (赤字幅は縮小)

受注高 : 458.0億円

<2016年>
504.7億円

→

<2017年>
458.0億円

前期比**90.8%**

- 単体 : 262.6億円(89.1%)
- 国内グループ : 123.9億円(104.3%)
- 海外グループ : 89.1億円(81.0%)

売上高 : 459.5億円

<2016年>
513.2億円

→

<2017年>
459.5億円

前期比**89.5%**

- 単体 : 268.0億円(87.3%)
- 国内グループ : 121.0億円(100.8%)
- 海外グループ : 88.5億円(84.2%)

営業利益 : 8.5億円

<2016年>
15.7億円

→

<2017年>
8.5億円

前期比**54.2%**

- 単体 : 3.4億円(18.3%)
- 国内グループ : 12.3億円(140.5%)
- 海外グループ : ▲4.8億円(+5.6億円)

※ () は前期比、なお海外グループの営業利益については前期比改善額
※ 海外グループは前期は15ヶ月

業績ハイライト（P/L）

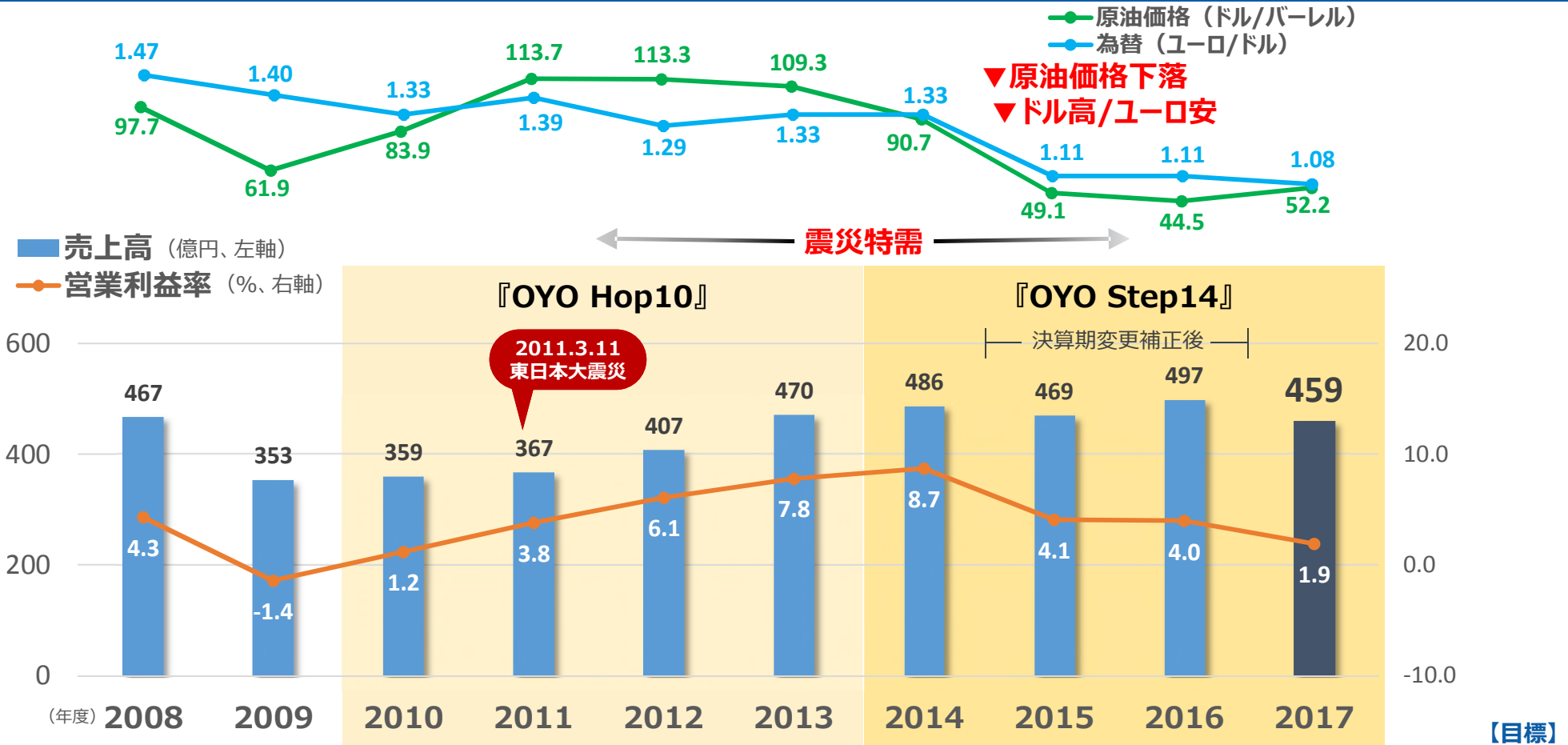
事業戦略分野の展開、及び新商品の市場投入も踊り場が続く

(百万円)	2016年度 実績	2017年度 実績	構成比	前期比
受注高	50,474	45,805	—	90.8%
売上高	51,323	45,957	100.0%	89.5%
売上原価	37,066	32,743	71.2%	▲1.0ポイント
売上総利益	14,257	13,212	28.7%	92.6%
販売管理費	12,678	12,357	26.9%	97.5%
営業利益	1,579	855	1.9%	54.2%
経常利益	2,012	1,220	2.7%	60.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,381	747	1.6%	54.1%
参考) 受注残高	16,818	16,667	—	99.1%

※決算期統一により、前年（2016年）の海外連結子会社の連結期間は15ヶ月（'15.10-'16.12）

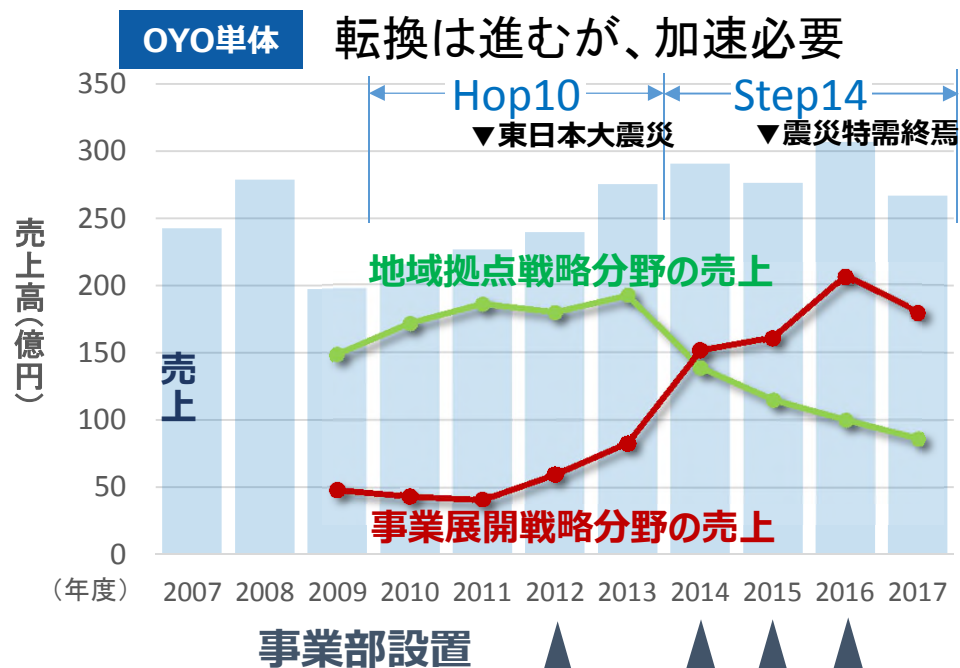
※当期の海外連結子会社の決算期間は、12ヶ月（'17.1-'17.12）

『OYO Step14』 目標と結果 (連結)



売上高 (億円)	470	486	469	497	459	585
売上高営業利益率 (%)	7.8	8.7	4.1	4.0	1.9	10.0
総資産経常利益率 (%)	5.8	6.0	3.1	2.4	1.4	8.0
海外売上比率 (%)	17.1	19.4	19.3	20.5	19.3	30.0

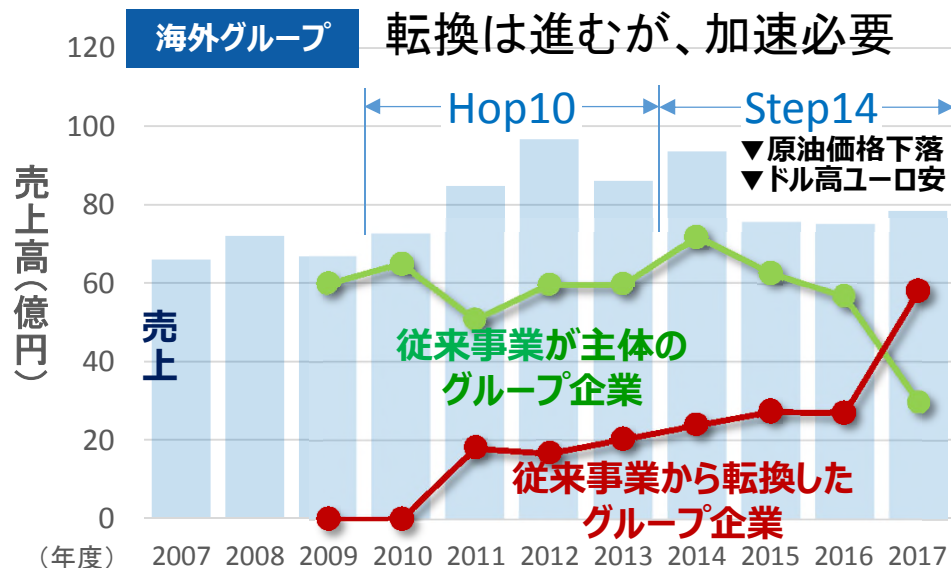
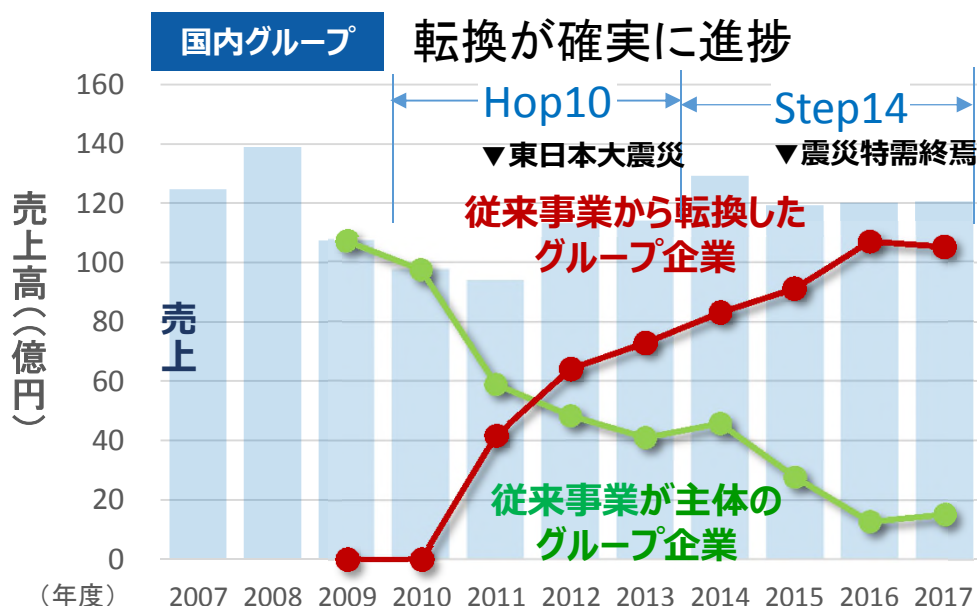
『OYO Step14』 主な成果と課題



【Step14の主な成果】

→ 過去の成功体験の事業スタイルからの転換

- ・単体
地域拠点戦略から事業展開戦略への転換
- ・国内グループ会社
コア明確化+ソリューションで市場開拓
- ・海外グループ会社
ソリューション型製品開発で市場開拓



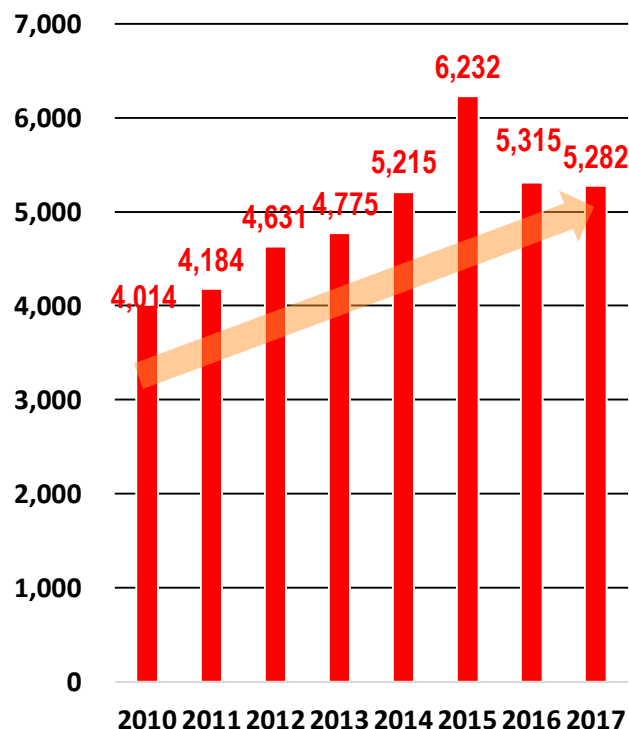
従来型から転換した企業の業績 -売上高の推移-

国内グループ：エヌエス環境(株)

計量分野でソリューションサービスを構築し市場拡大

- ・自然由来重金属対策
- ・アスベスト対策(ワンストップ) 等

単位：百万円



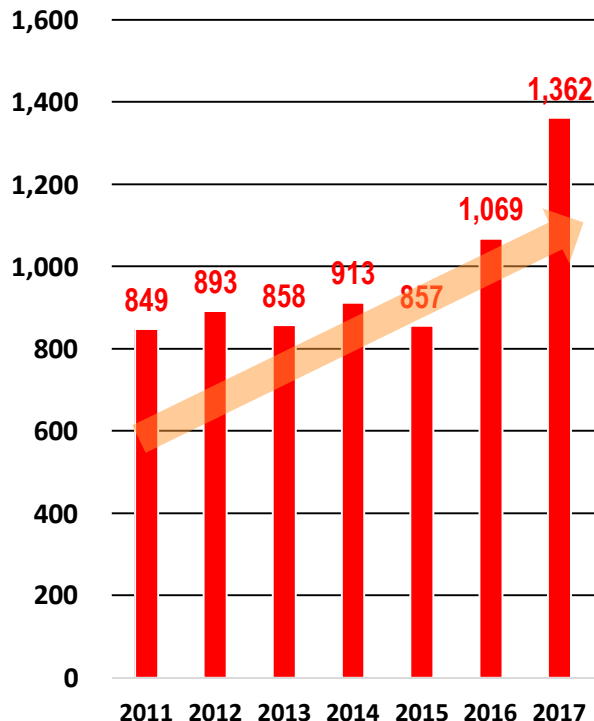
(※) 2015年度は15ヵ月決算

国内グループ：(株)ケー・シー・エス

交通コンサル分野で、情報技術のソリューションサービス提供

- ・ビッグデータ解析
- ・解析ソフト、アプリ提供 等

単位：百万円



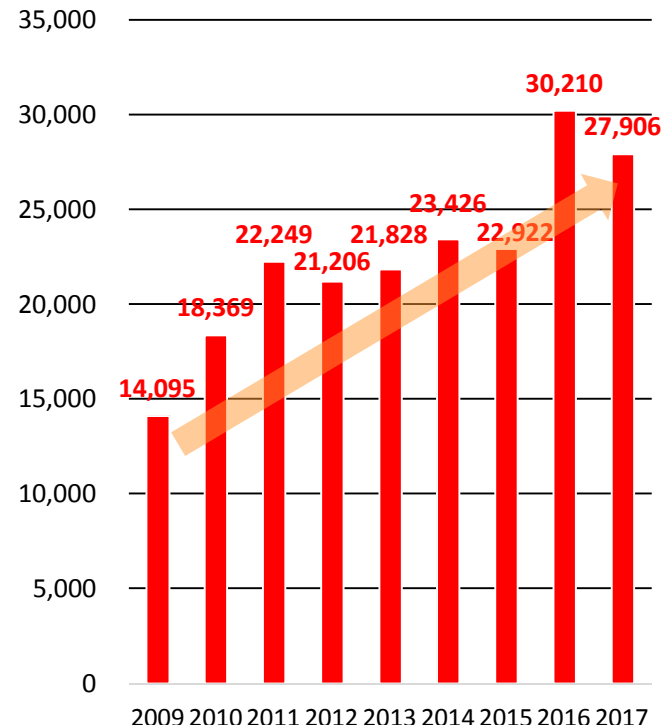
(※) 2015年度は15ヵ月決算

海外グループ：GSSI社

ニッチな専門家向け市場から維持管理の民生市場を拡大

- ・鉄筋コンクリート検査装置
- ・埋設管探査装置 等

単位：千ドル



(※) 2016年度は15ヵ月決算

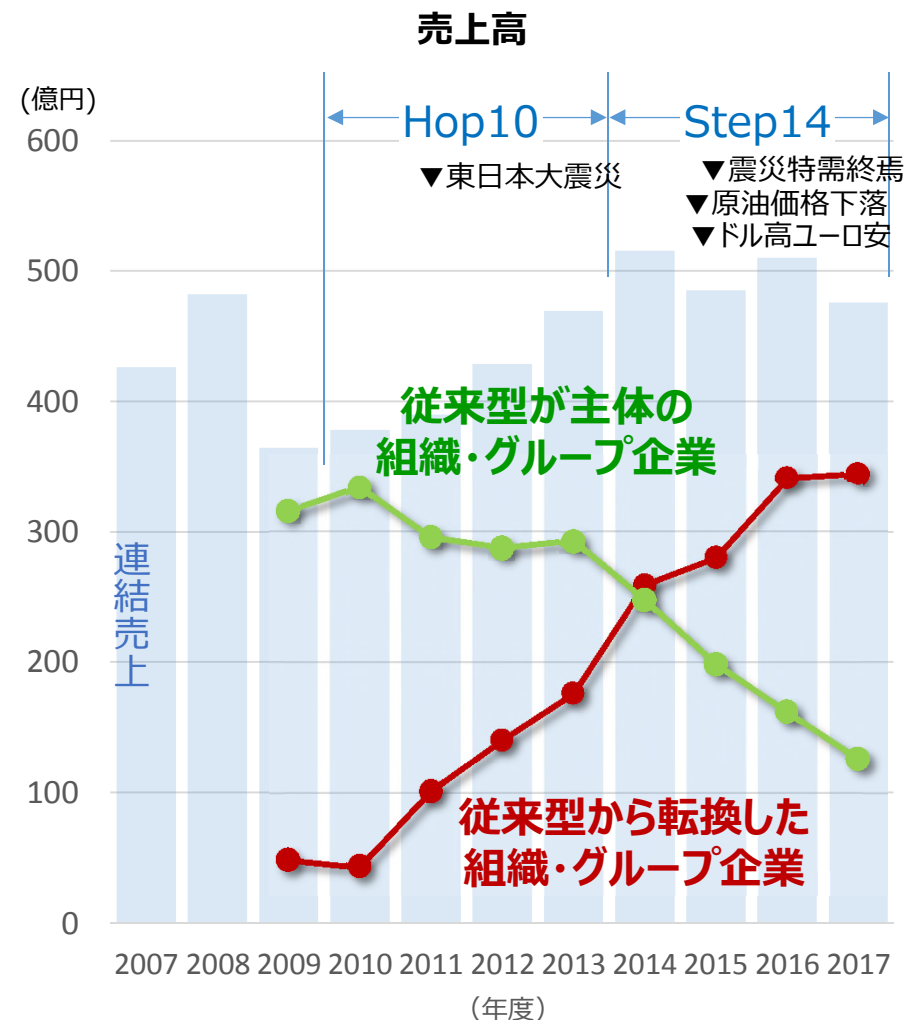
『OYO Step14』 主な成果と課題

【Jump18に向けた課題】

→ 従来事業との入替え加速
(特に、単体と海外グループを加速)

・事業スタイルの転換を加速するための事項

- ①ソリューションサービス化 (他分野連携)
- ②新たな事業分野(事業部)の増設
- ③ICT化推進
- ④開発投資強化
- ⑤技術重視志向から顧客ニーズ重視志向へ



戦略分野の取り組み：ソリューションサービス事例

【環境分野】

- 災害廃棄物処理計画の必要性の高まり
 - ・**環境分野**の廃棄物量計測、組成分析、処理・リサイクル手法
+ **防災・減災分野**の地震被害予測
 - ・がれき処理の迅速化と復興資材へのリサイクル
→ 震災復興のスピードアップと建設コストの縮減に貢献
 - ・熊本地震、糸魚川大火、台風災害においても活躍



【防災・減災分野】

- BOXからソリューションへの転換
【Kinematics社のOASIS+（オアシス・プラス）】
 - ・ハード製品としての地震計から、高層ビルの入居者の利便向上のためのソリューションシステムに転換
 - ・ブルジュ・ハリファへのシステム納入の他、ドバイ市内の警察署等でサービスを提供



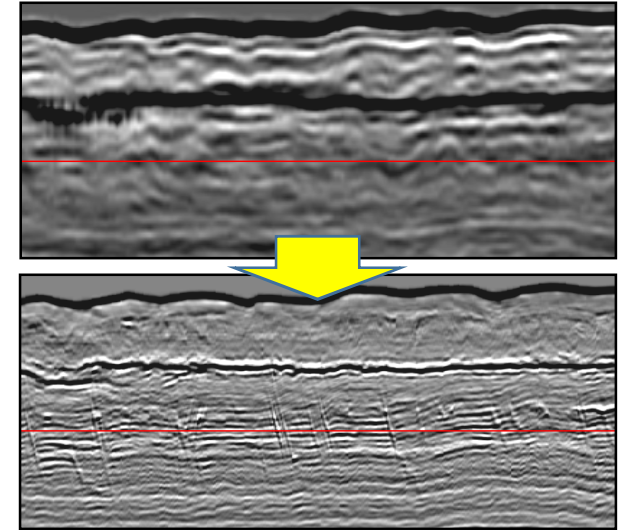
戦略分野の取り組み：ソリューションサービス事例

【資源・エネルギー分野】

● 新技術による新たなソリューションの提供

【NCS Subsea社 石油貯留層（リザーバー）四次元探査】

- ・従来よりも格段に鮮明な地質構造の可視化により、石油採掘における不確実性（地質リスク）を大幅に低減
- ・油価が低迷し、厳しい経営環境にある石油開発会社の投資判断をサポート（経営資源の集中、探鉱プロセスの効率化、経済性評価の精度向上）
- ・Shellなど石油メジャーより注目



● 地熱発電事業化支援サービスが好調

- ・グループ資源を集約し、地熱発電の企画段階から事業化までの各種サービスをパッケージ化

イー・アール・エス（持分法適用会社）：

事業性評価（遵法性・事業採算性・リスク分析、ファイナンス支援）

応用地質：環境アセスメント、地質調査、合意形成支援、資源量評価

Geometrics：探査機器の開発・提供

- ・地熱プロジェクト特有の、事業者を悩ませる複雑な事業化プロセスを円滑化するソリューション



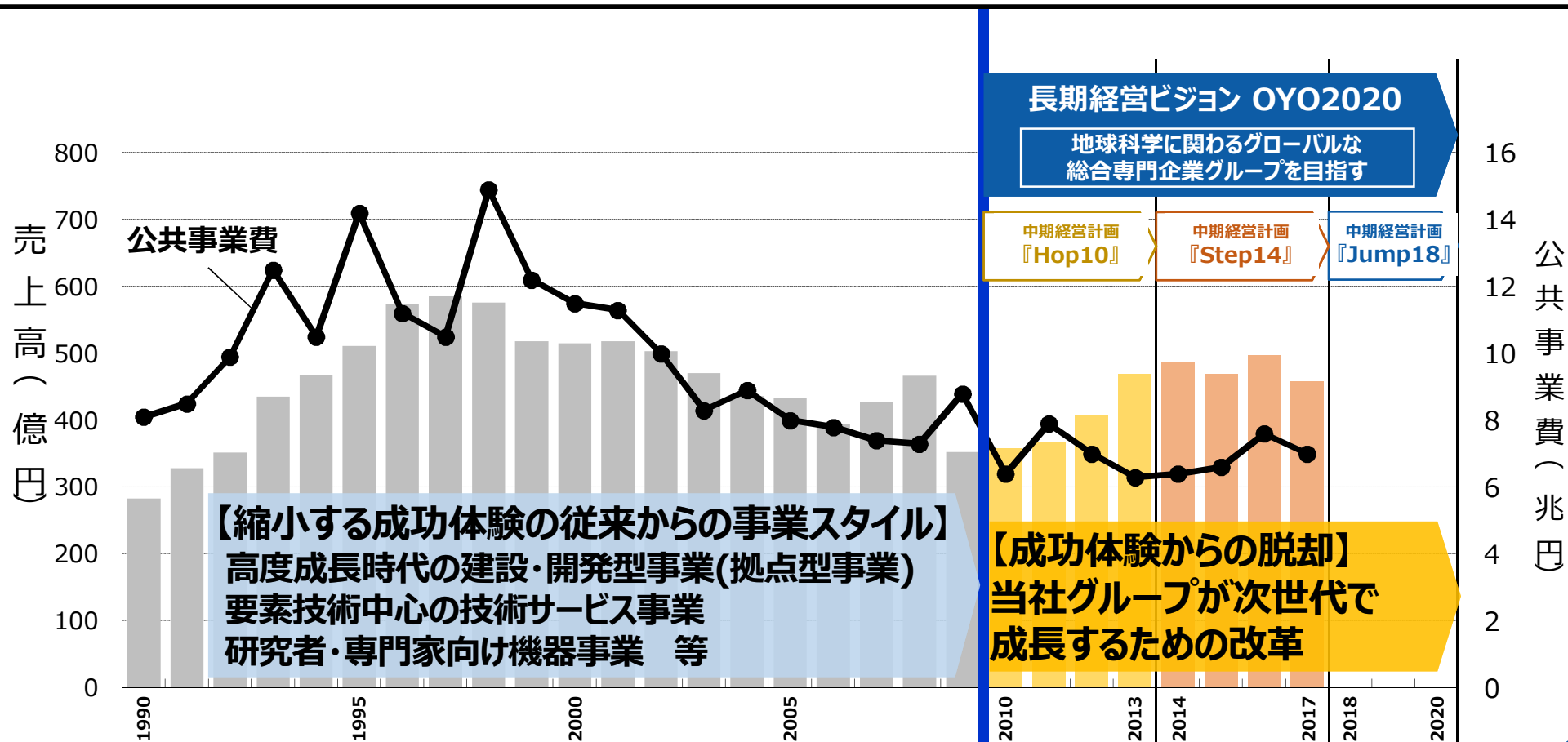
OYO

2017年12月期
決算説明会

2. 中期経営計画 『OYO Jump18』概要

長期経営ビジョンOYO2020策定の背景

過去の成功体験の事業スタイルから脱却 & 事業領域の拡大に向けた長期的なビジョンを策定し、2010年から取り組みを開始



応用地質グループ長期経営ビジョン

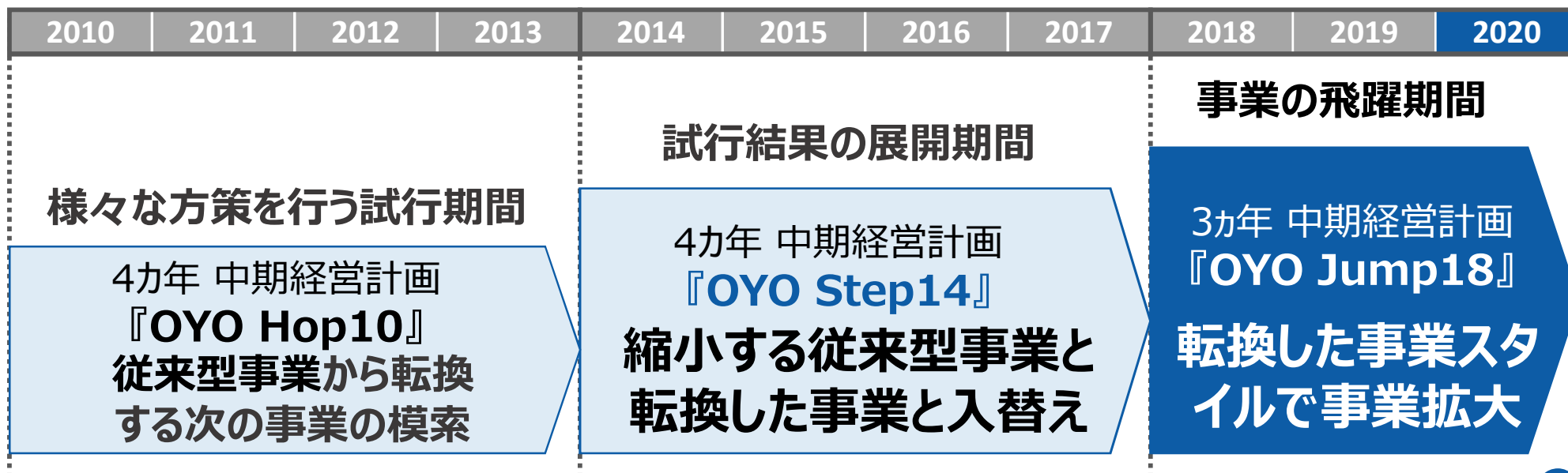
OYO 2020

地球科学に関わるグローバルな 総合専門企業グループ

従来型事業スタイルによる事業の縮小

→ 事業スタイルの転換による事業の拡大

ビジョン達成へのロードマップ



『OYO Jump18』基本方針・戦略

基本方針

前中期経営計画『OYO Step14』の成果を拡大し、社会の課題を解決するソリューションサービスを提供することで、持続的成長を目指す

基本戦略

1 成長戦略

『OYO Step14』で展開した事業分野で“OYOブランド”を確立

『OYO Step14』で展開してきた領域を次の4セグメントとして、事業拡大を推進
(2018年度よりセグメントを変更)

インフラ・
メンテナンス

防災・減災

環境

資源・
エネルギー

基本戦略

2 技術戦略

地盤3次元化技術の確立で新たな価値を創造し、市場を開拓

基本戦略

3 グローバル戦略

事業展開戦略をM&Aで加速、ソリューションシステムの海外展開

基本戦略

4 ガバナンス

社員QOL向上を含む、企業ガバナンス強化

『OYO Jump18』 成長戦略

成長戦略

『OYO Step14』で選定した事業分野で“OYOブランド”を確立

『OYO Step14』で進めてきた事業戦略に合った4セグメントで事業拡大を推進

持続可能な社会の構築

・・・ 社会の課題

地球と人間社会の調和

・・・ OYOグループの役割

セグメント ①

インフラ・メンテナンス

社会インフラ等の整備・維持管理を支援するためのソリューションサービス/システムの提供

応用地質

東北ボーリング
ケーシーエス
宏栄コンサルタント
応用計測サービス 他

GSSI、OYOPacific

セグメント ②

防災・減災

社会の自然災害に対する強靱化を支援するソリューションサービス/システムの提供

応用地質

応用地震計測
応用アール・エム・エス
OYOインターナショナル

Kinometrics

セグメント ③

環境

環境保全（負荷軽減）を支援するソリューションサービス/システムの提供

応用地質

エヌエス環境

セグメント ④

資源・エネルギー

資源・エネルギーの開発・保全・有効活用を支援するソリューションサービス/システムの提供

応用地質

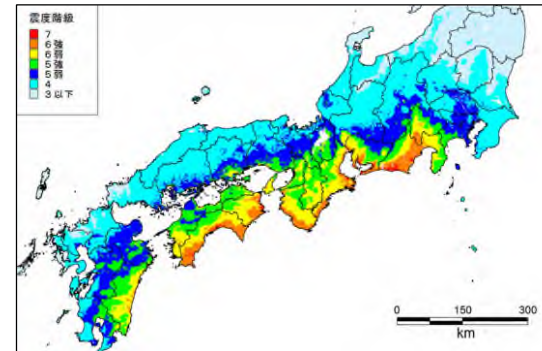
Geometrics
NCS-subsea
RG社

成長戦略 ～“OYOブランド”の確立～

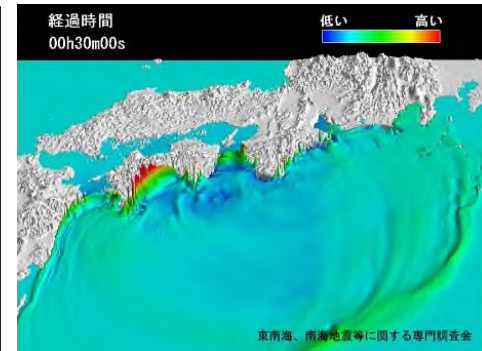
地震防災分野における当社の確立された優位性を積極的に発信し、ブランド化

地震動・被害想定等による地震防災行政支援

- ・広域地震モデル等の検討
- ・巨大地震等による長周期地震動の検討
- ・各都道府県の地震被害想定調査、地域防災計画等



出典：南海トラフの巨大地震モデル検討会



東南海・南海地震等に関する専門調査会

＜地震防災に関するOYOグループの技術資源＞

- ・理学(地震学)から工学(地震工学・土木工学・建築学)にかけて非常に高度かつ広範囲の専門性
- ・地震計のトップメーカをグループ内に保有
- ・自主的な地震被害の実態調査・研究による知見の蓄積
- ・スーパーコンピューター『京』の後継となるHPCI（ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ）推進研究グループの一員として、さらなる地震動予測の高度化に挑戦中

その他、地震に関わるハードからソフトまで 多種多様なサービスを社会に提供

強震観測網 (Kik-net, K-net) 地震計設置業務
(防災科学研究所)

火災延焼シミュレーション・消防力最適配備支援システム
の構築 (消防庁ほか)

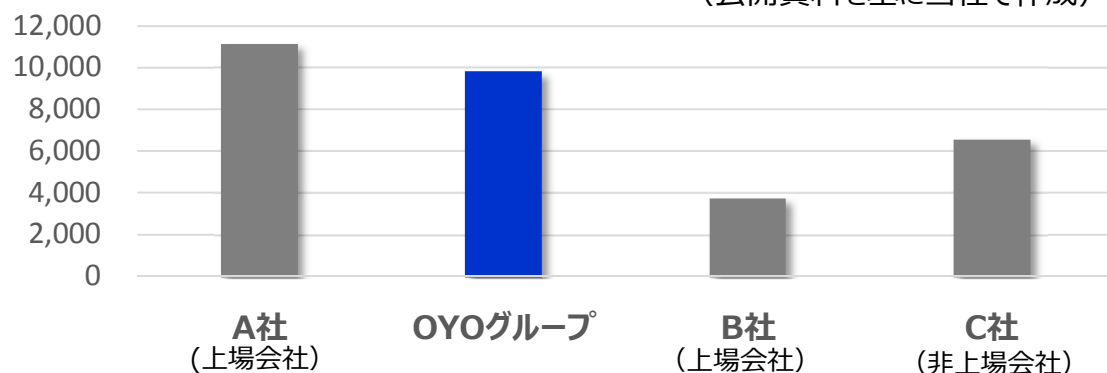
米国カリフォルニア州、アブダビ、チリ国等で地震観測網
の設置

活断層調査、地震被害想定調査、民間企業BCP、
防災備蓄計画、耐震点検、液状化 ほか

成長戦略 ～“OYOブランド”の確立～

多分野に隠れているが、日本有数の環境コンサルタントとしてのOYOグループ

国内の主要な環境コンサルタント 2017年売上高比較
(公開資料を基に当社で作成)



地質調査で培った地下水流動解析や物理探査技術等で**土壌・地下水汚染対策、廃棄物対策の市場を開拓**

東日本大震災後、**航空機による放射能モニタリング、水中での放射能測定器の開発、食品中の放射能汚染測定、除染廃棄物管理等**で幅広く貢献

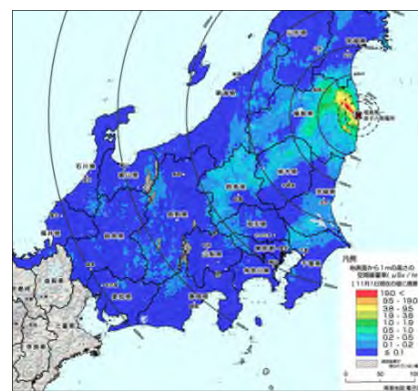
生物多様性関連業務(WET試験法、外来種生態調査、環境アセスメント等) も実績多数



戦後最大(当時)の**産業廃棄物投棄事件である豊島問題**で廃棄物量調査・浄化設計を担当(1990年)



ダム・河川の環境変化を研究するため**応用生態工学研究所**を設置(1999年)



東日本大震災による放射能拡散状況のモニタリングを担当(2011年～)



糸魚川大火での災害廃棄物算定業務を受注(環境省 2017年)

『OYO Jump18』技術戦略

技術戦略

地盤3次元化技術の確立で新たな価値を創造し、市場を開拓

【具体的な施策の方向性】

施策①

地盤情報ICTプラットフォームの整備
(2018.9で完成予定)

主要重点テーマ

- ① 次世代ビジネス基盤としてのプラットフォーム
＝地盤情報DBとAI解析サービス環境の構築
- ② グループで保有する3次元化技術、災害リスク情報、モニタリング機器等を体系化
- ③ 専門家以外でも3次元で地盤内部が理解でき、リスクの形を社会全体で共有。新たな市場と価値の創造を誘発。

施策②

研究開発センターの強化
(2018年に完了予定)

主な取り組み

- ① グループ内の技術資源を活用
⇒ 世界水準を確保する開発体制へ
- ② 外部連携を含めた開発体制の整備
- ③ 国内外の大学との連携・共同開発
(研究員留学、寄附講座) を継続・強化

3 グローバル戦略

事業展開戦略をM&Aで加速、ソリューションシステムの海外展開

全セグメントで市場のグローバル化を推進

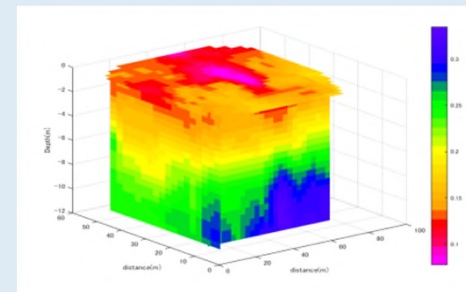
～地域や国毎の課題に対応したソリューションサービスをグループ連携で提供～

① グローバル事業展開戦略をM&Aで加速

- 現地企業をグループの事業展開拠点として位置付け
- 事業ポートフォリオの弱点を補強

② ソリューションサービスの海外市場拡大

- ICTを活用したソリューションシステムを主体
例えば 路面下空洞探査システムの海外販売
- 3次元物理探査システム、IoTクラウドサービスの海外展開



『OYO Jump18』ガバナンス

4 ガバナンス

社員QOL向上を含む、企業ガバナンスの強化

① 社員のQOL向上

- 生産性向上（ICT活用による事業スタイルの転換と働き方改革の推進）
- WLB（ワークライフバランス）からWLS（ワークライフシナジー）へ

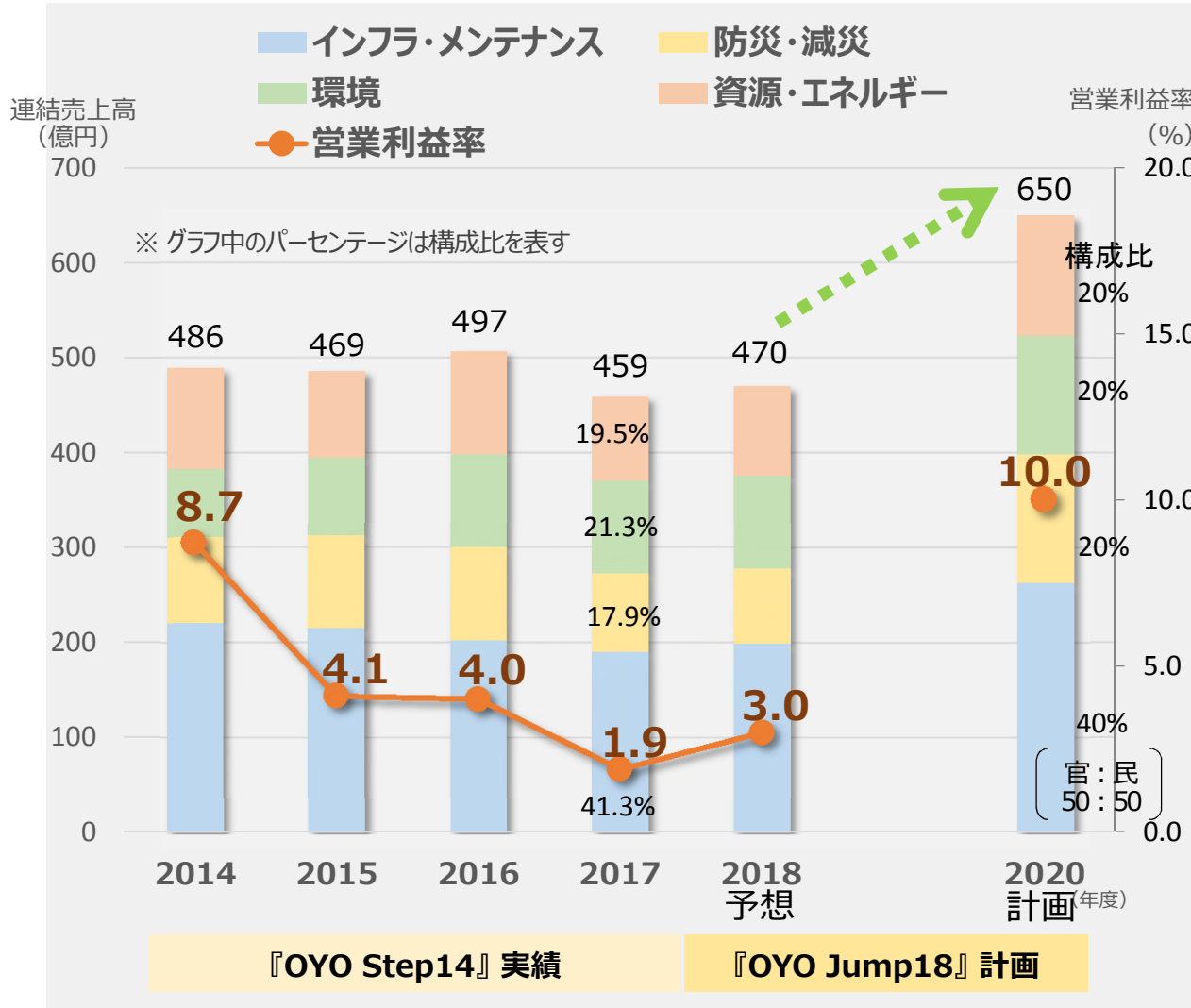
② CSRの取り組み強化

- コンプライアンスの強化
- SDGs（持続可能な開発目標）に関連する事業の拡大
- コンソーシアムを活用した新技術の普及活動推進（社会課題解決への貢献）

③ コーポレート・ガバナンスの強化

- 取締役会の「モニタリング機能」の強化（社外取締役を取締役の1/3以上へ）
- 「透明性」の強化（任意の指名・報酬諮問委員会を設置）

『OYO Jump18』業績目標



『OYO Jump18』 目標経営指標 (2020年度)

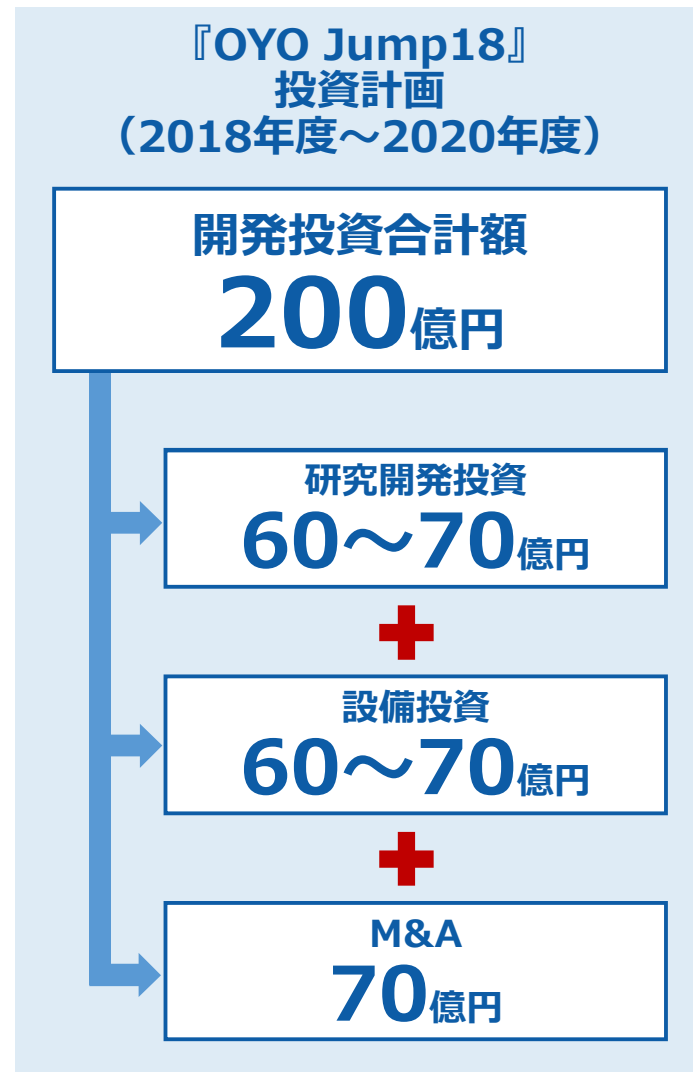
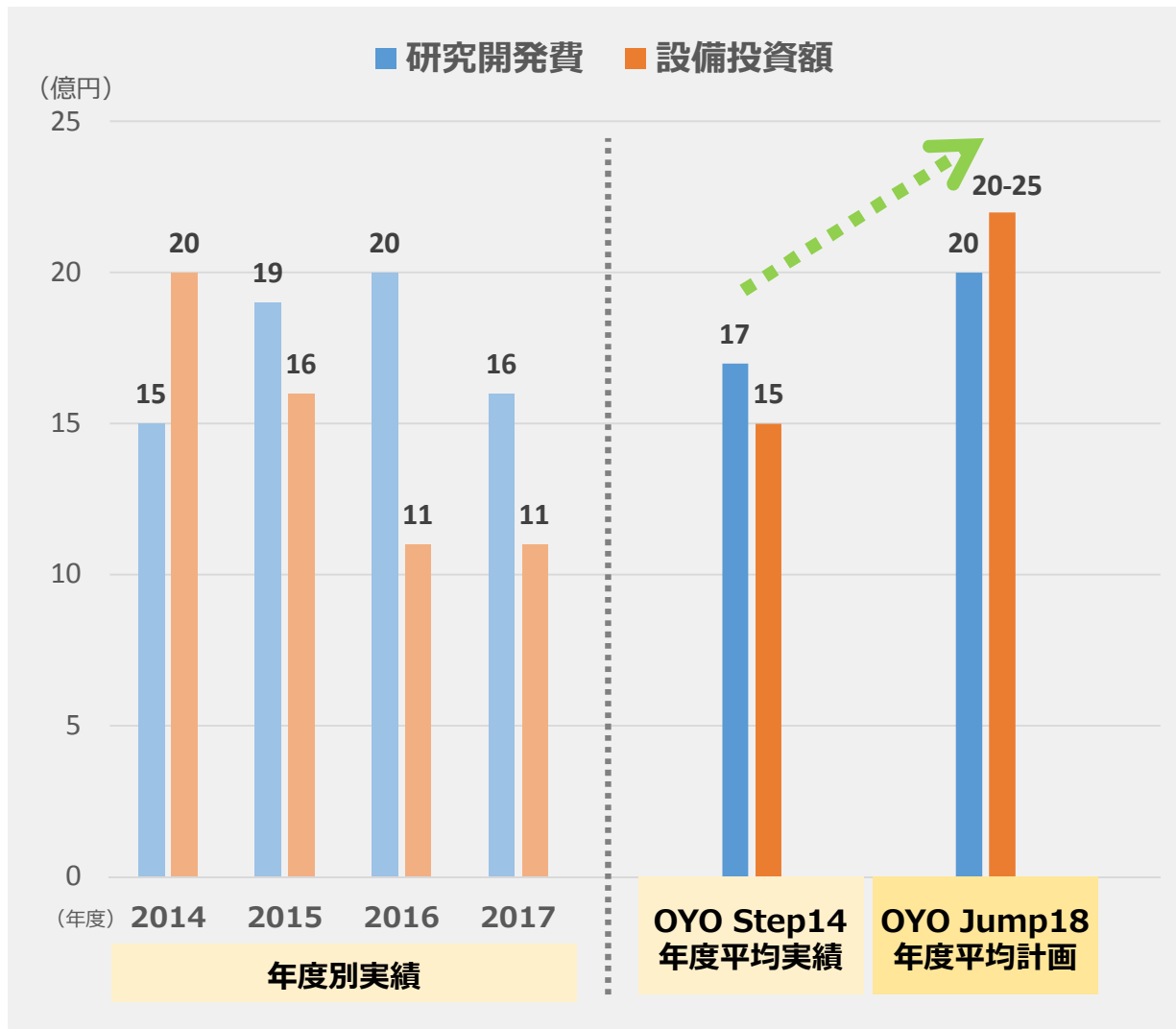
連結売上高
650億円

連結営業利益率
10%

- 連結営業利益 65億円
- 連結経常利益 69億円
- 親会社株主に帰属する当期純利益 45億円

自己資本利益率 (ROE)
6%以上

『OYO Jump18』投資計画



OYO

2017年12月期
決算説明会

3. 2018年12月期 業績予想・配当予想

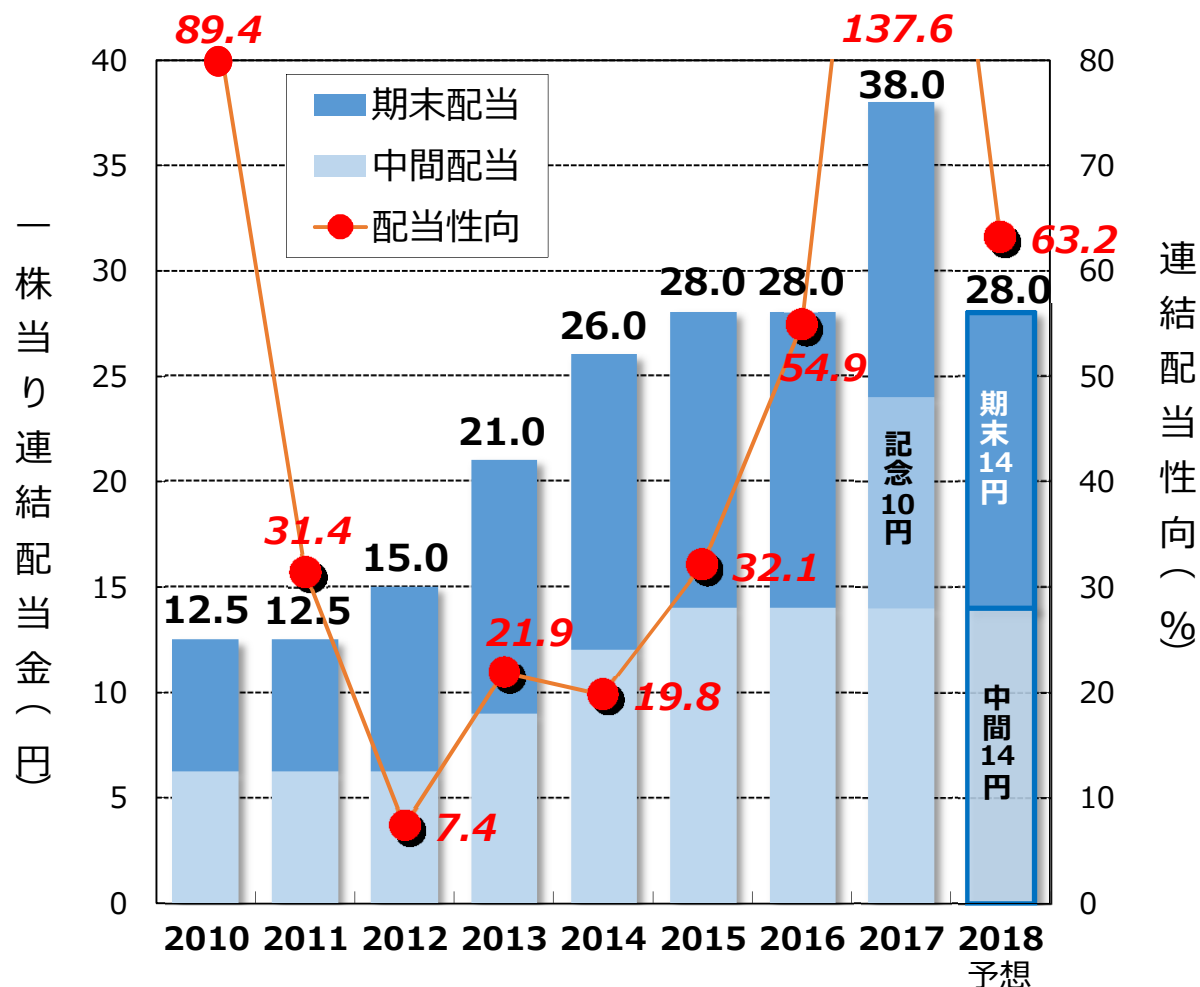
2018年12月期連結業績予想

事業展開を確実に進めて

(百万円)	2017年度実績	2018年度予想	前年比	前年増減
売上高	45,957	47,000	102.3%	+1,044
営業利益	855	1,400	163.7%	+545
売上高営業利益率 (%)	1.9%	3.0%	—	+1.1pt
経常利益	1,220	1,800	147.5%	+580
親会社株主に帰属する 当期純利益	747	1,200	160.6%	+453

配当政策

一株当たり配当金と連結配当性向の推移



※2017年の記念配当を除く連結配当性向：101.4%

【配当方針】

**連結配当性向
30～50%**
を目処とした
安定的配当

【2018年度 配当予想】

(一株当たり)

中間配当	14.0円
期末配当	14.0円
年間配当	28.0円

ご清聴ありがとうございました。
Thank you for your attention

End